

「権威ある新しい教え」

『申命記』は、約束の地を目前にしたイスラエルに、モーセがこれまでの荒れ野の旅を振り返って、説教を行うかたちで記されています。約束の地では多くの誘惑や試練があります。しかし律法という神の御言葉が告げられており、これに従うことによって、神がいつも共にいてくださることを味わうことができます。律法には神の権威が込められているからです。

『マルコによる福音書』では、汚れた霊に取りつかれた男が「ナザレのイエス、構わないでくれ」と叫びます。汚れた霊とは神から人を引き離すものです。つまり聖書が告げる「罪」なのです。汚れた霊は人を罪へと誘います。私たちも御言葉や信仰生活が重荷に感じられることもあります。神から離れて自分勝手に生きていきたいという思いになり、主イエスに「構わないでくれ」と思ってしまう時があります。しかし神に背くことは滅びへの道へと向かうことになります。主イエスの教えに従うことこそ罪から救われる道であり、神による幸いへとつながるのです。汚れた霊は主イエスが「神の聖者」とであると知っていたので「構わないでくれ」と願ったのです。しかし主イエスには汚れた霊を追い出す神の権威があり、「黙れ、この人から出て行け」と叱りになると、汚れた霊はその男に痙攣を起こさせ、出て行くのでした。神に立ち帰る時には痛みが伴います。しかし主イエスの教えに従うなら、神の救いによる大きな喜びをいただくことができます。

《神の招き》

前 奏 『深い愛により(賛美歌283番)』 J. ダンスタブル
招 詞 ダニエル書7章27節
賛 美 歌 教会福音讃美歌501

《神の言葉》

祈 禱 聖霊の照らしを求める祈り
聖 書 申命記30章11～15節 (旧約 314頁)
マルコによる福音書1章21～28節 (新約 61頁)

子ども説教
交読詩編 詩編29編1～11節 (33頁)
賛美歌 403
説教 「権威ある新しい教え」 八木浩史牧師
祈禱
賛美歌 508

《感謝の応答》

信仰告白 使徒信条
献金
祈禱 献金当番
主の祈り (週報表紙、ホームページ掲載)

《派遣》

頌 栄 25
祝 福
報 告
後 奏

礼拝当番: (役員:) 献金当番:
音響: 映像: